

# 図書館だより

第10号 1月 23日号



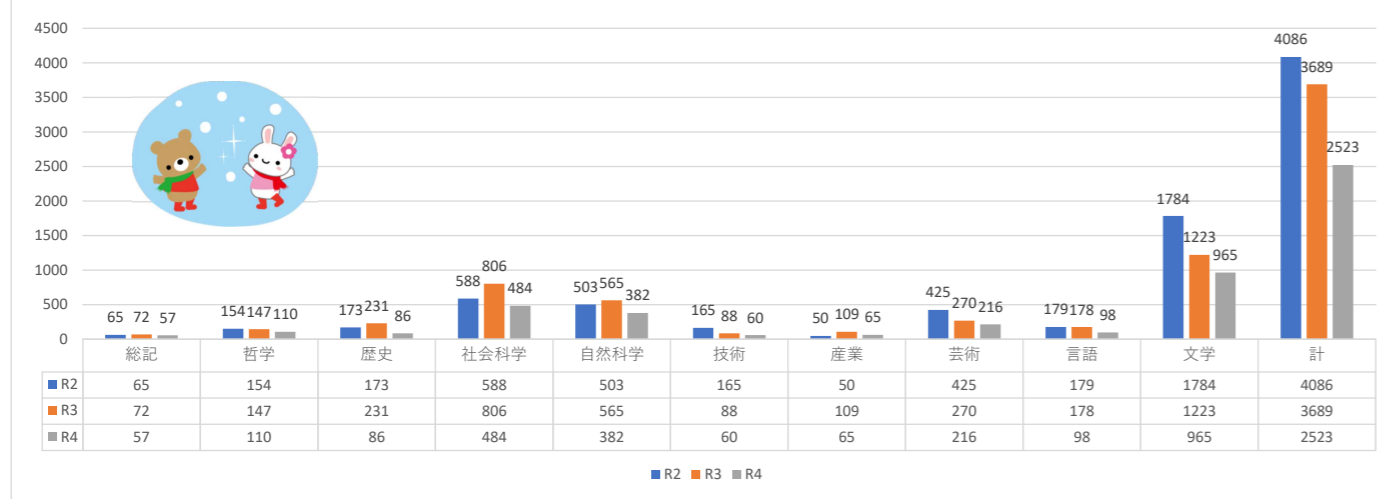
## \* 1月も終わり!! \*

3学期が始まって3週間。3年生は共通テストも終わりました。個別試験や私学の入試がこれからどうなっていくのかまだまだ先が見えず不安なこともあるかと思えます。とにかく体調に気をつけて過ごして下さい。気分転換にちょっとした読書もおススメです。

## \* ぜひ考えてもらいたいこと \*

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	計
R2	65	154	173	588	503	165	50	425	179	1784	4086
R3	72	147	231	806	565	88	109	270	178	1223	3689
R4	57	110	86	484	382	60	65	216	98	965	2523

分類別図書貸し出し冊数 R2年度～R4年度



1月5日現在の本年度図書館貸出の統計資料がまとまりました。昨年度よりも1000冊以上も減少していることに愕然としています。共通テストの文字情報の膨大さを考えると読書習慣は適確な情報処理のために欠かせません。また、将来を考えたとき、インターネット情報に拠らない情報収集能力と知識の蓄積、深い思考力は読書習慣に拠ってしか培うことは難しいでしょう。1、2年生は将来を考えたり、次の学年への準備をするとともに「紙で提供される活字」に触れる機会をぜひ持って下さい。

## \* 新着図書 \*

書名	著者名
君たちが生き延びるために 高校生との22の対話	天童 荒太 // 著
「覚える」と「わかる」 知の仕組みとその可能性	信原 幸弘 // 著
スクロール	橋爪 駿輝 // [著]
しんどい時の自分の守り方 10代から知っておきたいメンタルケア	増田 史 // 著
アフター・アベノミクス 異形の経済政策はいかに変質したのか	軽部 謙介 // 著
ルポアメリカの核戦力 「核なき世界」はなぜ実現しないのか	渡辺 丘 // 著
現代カストロフ論 経済と生命の周期を解き明かす	金子 勝, 児玉 龍彦 // 著
マルクス・アウレリウス 『自省録』のローマ帝国	南川 高志 // 著
森嶋外、自分を探す	出口 智之 // 著
培養肉とは何か?	竹内 昌治, 日比野 愛子 // 著



大正浪漫 YOASOBI 『大正浪漫』原作小説	NATSUMI // 著
今夜も喫茶ドードーのキッチンで。	標野 凧 // 著
りぼんちゃん	村上 雅郁 // 著
まちづくり仕組み図鑑	佐藤将之, 馬場義徳, 安富啓 // 著
ビジネスを生む「地元ぐらし」のススメ	
夜叉ケ池	泉 鏡花 // 著 しきみ // 絵
詩集『山羊の歌』より	中原 中也 // 著 まくら くらま // 絵
悪魔 乙女の本棚作品集	しきみ // 著
「心のクセ」に気づくには 社会心理学から考える	村山 綾 // 著
小さなまちの奇跡の図書館	猪谷 千香 // 著
ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい	大前 粟生 // 著
バンラデシュIT人材がもたらす日本の地方創生	狩野 剛
マンガ日本の古典 1 古事記	石ノ森 章太郎 // 著
マンガ日本の古典 2 落窪物語	花村 えい子 // 著
マンガ日本の古典 3 源氏物語 上・中・下	長谷川 法世 // 紫式部 著
マンガ日本の古典 6 和泉式部日記	いがらしゆみこ // 和泉式部 著
マンガ日本の古典 7 堤中納言物語	坂田 靖子 // 著
マンガ日本の古典 8 今昔物語 上・下	水木 しげる // 著
マンガ日本の古典 10 平家物語 上・中・下	横山 光輝 // 著
マンガ日本の古典 13 とはずがたり	いがらしゆみこ // 後深草院二条 著
マンガ日本の古典 14 吾妻鏡 上・中・下	竹宮 恵子 // 著
マンガ日本の古典 17 徒然草	バロン吉元 // 兼好 著
マンガ日本の古典 18 太平記 上・中・下	さいとう たかを // 著
マンガ日本の古典 21 御伽草子	やまだ 紫 // 著
マンガ日本の古典 22 信長公記	小島 剛夕 // 太田牛一 著
マンガ日本の古典 23 三河物語	安彦 良和 // 大久保彦左衛門 著
マンガ日本の古典 24 好色五人女	牧 美也子 // 井原西鶴 著
マンガ日本の古典 25 奥の細道	矢口 高雄 // 松尾芭蕉 著
マンガ日本の古典 26 葉隠	黒鉄ヒロシ // 山本神右衛門常朝 田代陣基 著
マンガ日本の古典 27 心中天網島	里中 満智子 // 近松門左衛門 著
マンガ日本の古典 28 雨月物語	木原 敏江 // 上田秋成 著
マンガ日本の古典 29 東海道中膝栗毛	土田 よしこ // 十返舎一九 著
マンガ日本の古典 30 浮世床	古谷 三敏 // 式亭三馬 著
マンガ日本の古典 31 春色梅児誉美	酒井 美羽 // 為永春水 著
マンガ日本の古典 32 怪談	つのだじろう // 小泉八雲 ラフカディオ・ハーン 著

\*3年生は図書館の本を卒業式までに必ず（できれば家庭学習に入る前に）返却して下さい。必要がある場合は、個別に相談して下さい。

## 知って！使って！図書館活用法

図書館の本の検索方法は身についたでしょうか？自分で見つけたい資料を探せるようになってくると、これから大学に進学しても、社会人になっても、その後も、人生を心豊かに過ごしていけるはず。まだ身につけていない人は、是非本を一冊見つけるチャレンジをしてみたい。わからない人は職員に質問して下さいね。「今、何が問題になっているのか？」図書館では関連の本を入れたり、新聞や雑誌を1年保管しています。総合などで利用したい場合はコピーをとることも可能です。必要に応じて利用して下さい。

さて、例年3年生が受験のため、図書館に資料や学部内容を調べに来るのが夏休み以降の9月頃。実はちょっと遅いのではないかと考えています。前年度の入試小論文の参考図書や新書を購入するのが1学期の中間テストの頃。新着はなくても、前年度までの資料はあるので、遅くとも1学期中には探しに来て読んで見ることが大事ではないでしょうか。

例えば、「国際関係」と一言と言っても「語学」「経済」「地域開発」「国際貢献」等々その学問の目指すところは様々です。大学の学部の内容は進路室や各大学のHPなどで調べることは可能でしょう。しかし、「自分の取り組みたい課題は何なのか。」「今その分野で何が問題になっているのか」といった学問内容については図書館で調べる方が有効ですし、より広く深く調べることができるのではないのでしょうか。

図書館では、入試小論文対策コーナーに学部系統別の参考図書を用意しています。新書等読みたい本、参考にしたい本がある場合は、購入したり、他の図書館から借りることもできます。

また、JICAなどの独立行政法人の機関誌や大学発行の情報誌のコーナーもあります。こうした雑誌は、今現在各機関が何を行っているかを知る上でとても役に立ちます。希望があれば貸出もできますので、ぜひ有効活用して下さい。

